

富士山の価値を 守る

美しい富士山の自然と、富士山が育んできた文化遺産の価値を学び、理解し、次世代に残していこう。

普及活動の推進

民間施設、公共施設等でのパネル展示の開催、イベントでの啓発活動の実施。サテライト施設への世界遺産常設展示など。

◆ [常設展示] 市役所7階フロアや環境交流プラザにてパネル展示

市役所7階では、富士宮市内の6カ所の構成資産と山頂信仰遺跡の紹介をパネルで展示しています。また、絹本著色富士曼荼羅図のレプリカや市内に点在する構成資産の全体マップを展示しています。

環境交流プラザでは、市内の構成資産を紹介したパネルや富士山ロングトレイルのパネルと映像などを常時展示しています。プラザで行われている特別展示の見学者や各種講座などの利用者が富士山のことを知ってもらう機会となっています。



市役所7階常設展示



プラザ2階常設展示

◆ [平成26年6月22日] 世界遺産登録一周年記念事業「富士山絆祭」

世界遺産の登録一周年を記念して「世界遺産富士山のまち富士宮」と題したセレモニーを市役所にて行いました。セレモニーでは、市内の各構成資産へ世界遺産認定書(レプリカ)の伝達式を執り行いました。



世界遺産認定書を市役所玄関に展示

また、富士宮絆とどけ隊との共催による歌やダンスのステージ、飲食模擬店などが会場を盛り上げ、多くの市民が来場されました。

◆ [平成26年5・7・8・10月、平成27年2月]

世界遺産富士山の構成資産めぐり

富士宮市民を対象に、市内にある構成資産をバスで巡る構成資産めぐりを行いました。富士山の開山期(7・8月)には、富士宮口5合目から宝永火口周遊コースを巡りました。各構成資産では世界遺産ガイドによる歴史や文化財の解説を聞きながら拝観しました。2月は、「富士山の日」記念事業として、市内の小中学生を対象にしたクイズラリー形式の構成資産めぐりを行いました。各構成資産にて、世界遺産ガイドの方々のお話を聞いて問題を解いたり、ヒントを参考に自分で答えを探していました。



8月構成資産めぐり(浅間大社)

学校教育・生涯学習への活用

市内の学校が富士山学習の一環として、世界遺産富士山の学習をするために市役所に来庁。市役所職員がスライドや資料を使って説明したり、生徒の疑問に答えました。

また、市役所職員が市内の小中学校や地域の寄合処などに出向き、世界遺産富士山に関する出前講座を行いました。講座では、スライドを利用して国内外の世界遺産のことから富士山が世界遺産になった経緯、これからのまちづくりについてなどをテーマに講演しています。

文化財の保存管理・整備

史跡富士山整備基本計画に基づき保存管理・整備をしています。

平成26年度は村山浅間神社の富士山興法寺大日堂の保存修理工事が行われました。本堂を解体し、使用部材を活用して江戸末期の状態に復元するとともに、耐震補強も行われました。



工事完了の外観



工事完了の内観

景観保全活動の推進

乱立する看板の集合化したり、不要な看板を撤去して沿道の景観の修景活動を行っています。

朝霧地区では、良好な景観形成・保全を目指し、地元住民、地元事業者、NPOなどの市民活動団体、国・県・市などの行政団体が協働で景観に関する様々な取組を行う「朝霧地区景観形成ワークショップ会議」による活動が行われています。景観を楽しむウォーキングルートの検討やガードレールや自販機のダークブラウン塗装、集約案内サイン整備、富士山の日に合わせて朝霧高原における「ごみゼロ活動宣言」を実施。道の駅などでポケットティッシュやごみ持ち帰り袋の配布などを行いました。



白糸ノ滝にてポケットティッシュの配布



ごみ持ち帰り袋

保存管理基金の設置・運営

富士宮市では、世界遺産富士山に係る保全及び活用にあつては要する財源を充てるため、「富士宮市世界遺産富士山基金」を設置しました。この基金は、富士山の環境保全はもとより、史跡整備や周辺の環境整備、価値を伝えていくためのガイド養成やパンフレット類の作成など、様々な保存管理の活動に活用していく予定です。

来訪者を 受け入れる

訪れる人が、富士山の魅力を安全に、興味深く、効率的に味わうことができる、「ようこそ」の心あふれる受け入れ体制をつくろう。

サイン整備

世界遺産富士山を紹介する静岡・山梨両県共通の総合案内板（ブロンズ製）を浅間大社・山宮・村山・人穴の構成資産に設置しました。

案内板には、設置場所の構成資産の解説などが記載されています。



人穴の総合案内板

拠点施設整備

静岡県が事業主体となって、富士山せらぎ広場周辺に富士山世界遺産センター（仮称）を建設する準備を進めています。市は県と地元関係者との調整を図るべく対応しています。

現在は、坂茂建築設計による基本設計、実施設計が行われ、平成27年度上期に着工し、平成28年度中に完成する予定です。



富士山世界遺産センターイメージ図

ガイド体制の整備

富士山の顕著で普遍的な価値を来訪者や市民に正しく伝え、理解を深めるために、富士山世界遺産ガイドを養成しています。土・日には各案内所にて来訪者への無料ガイドを実施しています。

現在、100名程度が富士宮市の富士山世界遺産ガイドとして登録されています。（平成27年3月現在）



構成資産めぐりで説明する
富士山世界遺産ガイド

外国人への対応

世界遺産富士山の価値を外国の方々にも理解していただけるよう、富士山世界遺産ガイドによる外国人向けのガイドマニュアルを作成しています。ガイドによってまとめられたガイドマニュアル（日本語）を、県立富士宮東高校の生徒たちが英語に翻訳。今後、高校生たちは実際に浅間大社などで外国人にガイドを行い、実践的な体験も行っていく予定です。



東高校でのガイドの皆さんと校長先生との打合せ

まちづくりに 活用する

富士山の恵みあふれる富士宮の自然、歴史、文化、産業を掘り起こし、新たな価値を創造していく、躍動するまちづくりをすすめよう。

地域資源のネットワークの確立

地域や行政、民間企業や団体などの交流促進を図り、事業を支援したり情報交換をしていくことで新たな地域産業の発展に繋がっていきます。また、地元の観光施設や業者と富士山周辺の自治体などと連携を図り、様々なツーリズムと構成資産を組み合わせ、富士山ツーリズムを構築しています。

◆行動計画推進員の活動

富士山世界文化遺産富士宮市行動計画推進員は現在36団体(個人含む)が登録しています。(平成27年3月現在)



グッズ部会での推進員による商品の紹介

これまで、グッズ部会や旅行部会が開催され、様々な業種間交流が図られてきました。そこから推進員同士のコラボ商品や新商品が開発されました。新聞やテレビでも取り上げられ、推進活動が行われています。

新聞記事)平成26年9月27日静岡新聞



◆おもてなしプラス1推進事業

日常生活の中でできることにプラスして、世界遺産のあるまちのおもてなしを伝えるおもてなしプラス1の取組を推進しています。

市民の環境美化意識の向上を目的に、ウォーキングの際にごみ袋を持参することなどを提唱。このプラス1の考え方(できる範囲で、できること、ちょっと加えた)を、世界遺産富士山のあるまちの市民、商店、企業、それぞれができる「おもてなし」に展開できればと考えています。



◆ノルディックウォーキングの実施

山宮・村山ゾーンのサテライト施設である富士山環境交流プラザの自主事業として、構成資産である山宮浅間神社から村山浅間神社までのノルディックウォーキングを実施しました。

世界遺産による地域振興

「村山」「山宮」「人穴」などの地域ブランドが確立され、既存の特産品を活かし、世界遺産と関連付けた付加価値の高い特産品づくりを支援しています。

地元の高校生主導で市民の協力のもと、平成23年度から活動している伝統野菜「村山にんじん」が復活し、平成26年度現在6軒の農家が栽培しています。



地元の高校生による播種作業

連携を視野に 情報を発信する

市民や来訪者に富士山の多様な価値を伝え、「守る」「受け入れる」「活用する」に係わる情報を整理し発信することにより、富士宮市が世界遺産のあるまちであることを示そう。

イベントの開催

富士山の魅力と世界遺産の意義、地域の将来像などをテーマに、地元をはじめ県内外での各種イベント（講演会・シンポジウムなど）を開催しています。

◆ [講演会] ー富士山の日記念ー世界遺産のまちづくり推進講演会

富士山の日（2月23日）を記念して、東京大学名誉教授の月尾嘉男氏をお招きし、「世界遺産と地方創生～富士宮市の行方～」をテーマに講演していただきました。



基調講演の様子

◆ [表彰] 第4回富士宮市景観賞

平成20年度から隔年で実施されている「富士宮市景観賞」が、平成26年度も開催されました。世界遺産の登録を契機に、今後の更なる取組などへの期待とともに日頃の活動に対する謝意の意を表し、これまでの景観賞応募者を対象にした富士宮市景観賞「奨励賞」を新設しました。

広報誌等の発行

富士山世界遺産登録一周年記念事業や富士山に関連したイベント及び構成資産の整備状況などについて、年間を通じ広報誌・広報別冊において情報発信しています。



H26年度掲載状況

広報ナンバー	No.	富士山関連の特集
広報ふじのみや平成26年6月号	611	・富士山世界遺産登録一周年イベント「富士山絆祭」 ・世界遺産・富士山の夏山シーズン開幕！ ・富士山ネットワークによる登山道特集
広報ふじのみや平成26年7月号	612	・富士山が世界遺産になってから1年
広報ふじのみや平成26年8月号	613	・富士開山祭、富士山小山開き
広報ふじのみや平成26年9月号	614	・総合計画の策定・世界遺産のまちづくり
広報ふじのみや別冊創宮 Vol.5		・富士山世界遺産登録一周年記念事業「富士山絆祭」 ・世界遺産富士山の構成資産整備「富士宮市はすばらしい！」と川勝知事高評価
広報ふじのみや平成27年2月号	619	・富士山の日イベントなど特集

メディア・マスコミの活用

テレビ・新聞・ラジオなどのマスメディアを利用して、県内外へ広く情報発信するほか、旅行雑誌などへの掲載・出版活動を支援しています。

◆富士宮市役所ホームページの活用

市の公式ホームページでは、世界遺産富士山専用の項目を設け、市内の構成資産の紹介や、市で行われるイベントなどを掲載。また、市の取組について公開しています。



◆SNS（ソーシャルネットワーク）の活用

情報発信課と観光課による facebook を活用した情報発信を行っています。市内のイベントや観光情報、市役所からの富士山の様子など、新しい情報をいち早く掲載し、多くの方々に活用していただいております。



◆メールマガジンの活用

観光課や産業振興課ではメールマガジンを通じて観光情報や、企業支援のための各種補助金やイベントなどの開催情報を登録者に発信しています。

◆コミュニティエフエムによる情報発信

富士市・富士宮市エリアで放送されているコミュニティエフエム放送局「ラジオエフ」（84.4MHz）にて平成26年度は、富士山関連イベントの開催情報などを17回ラジオ放送しました。

◆テレビ・新聞による情報発信

地元のテレビ局や新聞社では、市のイベントをはじめ、富士宮の観光や商店街の情報などが取り上げられています。

2月にSBS（静岡放送）テレビの情報番組で特集された「行動計画推進員のグッズ紹介」では、放送後、商品の問い合わせが増えるなど効果的なPRに繋がりました。

観光事業者へのPR

静岡県のアンテナショップである静岡県東京観光案内所（有楽町）において、推進員が販売している各種富士山グッズの展示販売が行われました。また案内所では、推進員作成の世界遺産の映像が随時放映されています。



観光案内所の入口

民間主導のPR活動

各種団体が世界遺産に関するPR活動を行っています。

◆世界遺産富士山インフォメーションサインの設置

平成27年2月、富士宮ライオンズクラブから富士山憲章や構成資産を紹介するインフォメーションサインを富士山せせらぎ広場に寄附していただき、世界遺産富士山に関する情報発信を行っています。



除幕式の様子

◆世界遺産啓発用フラッグの掲揚

平成26年7月、富士宮ロータリークラブから世界遺産啓発用フラッグを寄附していただき、富士宮商店街連盟の協力を得て、各商店街に掲揚することで、世界遺産富士山に対する啓発を図っています。



店先に掲げられたフラッグ